



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 徳倉建設株式会社
 代表者名 代表取締役社長 徳倉 正晴
 (コード：1892、名証第2部)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 郡司 哲夫
 (TEL. 052-961-3271)

通期業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の連結・個別業績予想と、本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成 30 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想値と実績値との差異について

1. 平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	50,000	1,100	1,000	2,600	1,262 円 81 銭
実 績 値 (B)	47,712	1,049	861	2,801	1,360 円 76 銭
増 減 額 (B - A)	△2,288	△51	△139	201	
増 減 率 (%)	△4.6	△4.6	△13.9	7.7	
(参 考) 前 期 実 績 (平成 29 年 3 月 期)	42,984	1,148	1,168	1,063	516 円 72 銭

2. 平成 30 年 3 月期 通期個別業績予想数値と実績値との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	30,000	700	400	192 円 19 銭
実 績 値 (B)	27,676	320	382	183 円 96 銭
増 減 額 (B - A)	△2,324	△380	△18	
増 減 率 (%)	△7.7	△54.3	△4.5	
(参 考) 前 期 実 績 (平成 29 年 3 月 期)	30,049	779	782	375 円 83 銭

3. 業績予想との差異の理由

平成 30 年 3 月期の連結・個別の売上高につきましては、受注時期の遅れ等があり、当初予定を下回りました。利益につきましては、売上高が想定を下回ったこと、また、販管費の増加・為替差損の計上により、営業利益・経常利益は当初見込みより減少いたしました。当期純利益につきましては、投資有価証券売却益等の特別利益の計上等により、連結・個別ともにほぼ予定通りとなりました。

●剰余金の配当（増配）について

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 29 年 5 月 12 日公表)	前期実績 (平成 29 年 3 月 31 日)
基 準 日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金 (株式併合後換算)	80 円 00 銭	60 円 00 銭	8 円 00 銭 (80 円 00 銭)
配当金総額	164 百万円	—	164 百万円
効力発生日	平成 30 年 6 月 29 日	—	平成 29 年 6 月 30 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注)当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しました。前期との比較を分かり易くするため、下段の括弧内には当該株式併合後の数値に換算した金額を記載しております。

2. 理由

当社は、利益は「株主への還元」、「安定的な配当の維持」及び「長期的な視野に立った企業体質の強化」にバランスよく配分する事が重要であると考えており、企業価値を高め、将来的な発展を視野に入れた利益配分を基本としております。

この基本方針のもと、当事業年度の期末配当につきましては、上記業績および今後の経営環境を総合的に勘案し、1 株あたり 20 円増額し、80 円に修正いたします。

なお、本件につきましては、平成 30 年 6 月 28 日開催予定の第 73 回定時株主総会に付議する予定です。

(注) 当社は平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。平成 29 年 3 月期については当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。

以 上